

お茶の水女子大学学报

第 55 号

お茶の水女子大学庶務課発行

目	次
関係法令	1
学内規定	1
学事	2
人事	5
日誌(抄)	6
諸報	7

関 係 法 令

【法 律】

○昭和48年度における期末手当の割合等の特例に関する法律（法律第120号 昭和48年12月17日官報）

【省 令】

○支出官事務規程等の一部を改正する省令（大蔵省令第62号 昭和48年12月1日官報）

○国家公務員共済組合法施行規則の一部を改正する省令（大蔵省令第64号 昭和48年12月12日官報）

○国家公務員共済組合法施行規則の一部を改正する省令（大蔵省令第67号、昭和48年12月27日官報）

○国有財産法施行細則の一部を改正する省令（大蔵省令第1号、昭和49年1月10日官報）

○学校基本調査規則の一部を改正する省令（文部省令第3号、昭和49年2月18日官報）

○学校保健統計調査規則の一部を改正する省令（文部省令第4号、昭和49年2月18日官報）

【規 則】

○俸給等の支給の一部を改正する規則（人事院規則第9-7号、昭和48年12月24日官報）

○宿日直手当の一部を改正する規則（人事院規則第9-15号、昭和48年12月24日官報）

○宿日直勤務の一部を改正する規則（人事院規則第5-9号、昭和48年12月24日官報）

○女子職員及び年少職員の健康・安全及び福祉の一部を改正する規則（人事院規則第10-7号、昭和49年1月29日官報）

○俸給等の支給の一部を改正する規則（人事院規則

第9-7号、昭和49年1月29日官報）

○宿日直手当の一部を改正する規則（人事院規則第9-15号、昭和49年1月29日官報）

○宿日直勤務の一部を改正する規則（人事院規則第15-9号、昭和49年1月29日官報）

【学 内 規 程】

○お茶の水女子大学学部規程の一部を改正する規程を次のように定める。

昭和48年12月19日

お茶の水女子大学長 谷田 閔次

お茶の水女子大学学部規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学学部規程の一部を次のように改正する。

第1条 文教育学部規程第1条中、教育学科

「表現体育学専攻	「表現体育学専攻
第1講座 運動心理学	第1講座 舞踊教育学
第2講座 運動生理学	を第2講座 遊戯学に
第3講座 舞踊教育学」	第3講座 動作学」

「音楽教育学専攻	「音楽教育学専攻
第1講座 音楽学	第1講座 音楽学
第2講座 音楽教育学」	を
第2講座 演・奏学」	に改め

理学部規程第1条中生物学科「第5講座遺伝学」の次に「第6講座細胞生物学」を加える。

附 則

この規程は、昭和48年12月19日から施行し、昭和48年4月1日から適用する。

○お茶の水女子大学学部履修規程の一部を改正する規程を次のように定める。

昭和48年12月19日

お茶の水女子大学長 谷田 閔次

お茶の水女子大学学部履修規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学学部履修規程の一部を次のように改正する。

第一条 別表(学科課程)の表中、文教育学部教育学科

「表現体育学専攻	「表現体育学専攻
第1講座 運動心理学	第1講座 舞踊教育学

第2講座 運動生理学を第2講座 遊戯学に
 第3講座 舞踊教育学」第3講座 動作学」
 「音楽教育学専攻」 「音楽教育学専攻」
 第1講座 音楽学 第1講座 音楽学

を
 第2講座 音楽教育学」第2講座 演奏学」
 に改め
 理学部規程第1条中生物学科「第5講座遺伝学」の
 次に「第6講座細胞生物学」を加える。

附 則

この規程は、昭和48年12月19日から施行し、昭和48
 年4月1日から適用する。

学 事

【学 生 募 集 要 項】

1. 専攻名および募集人員

○昭和49年度お茶の水女子大学大学院人文科学研究科（修士課程）

専 攻 名	募 集 人 員	専 攻 名	募 集 人 員
哲 学 専 攻	8	英 文 学 専 攻	8
史学専攻 { 日本史学 東洋史学 西洋史学	8	教 育 学 専 攻	12
地 理 学 専 攻	6	舞踊教育学専攻 { 舞踊教育学 遊戯学 動作学 音楽学 演 奏 学	10
日 本 文 学 専 攻	8		
中 国 文 学 専 攻	4		

2. 修 業 年 限 2 年

3. 受 験 資 格 下記該当の女子とする。

1. 大学を卒業した者、および昭和49年3月卒業見込の者
2. 大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

4. 出 願 手 続

- (1) 入 学 願 書 用紙は本学で交付
- (2) 卒 業 (または見込) 証明書
- (3) 推 薦 書 指導教官または主任教官等により作成されたもの（形式随意）
- (4) 調 査 書 大学院修士課程入学者選抜実施要項に基づく調査書。用紙は本学で交付
- (5) 健康診断書 用紙は本学で交付
- (6) 写 真 上半身、出願前3か月以内に撮影したもの。大きき名刺型。3枚、願書の指定欄にはる。
- (7) 返信用封筒・郵送の場合に限り、あて先を表記し、20円切手をはる。
- (8) 受験許可書 在職中のものは所属長の許可書を添えること。

前記書類を一括し、入学検定料を添え、所定の期日までに本学に到着するよう提出のこと。

郵送するときは書留郵便とし、封筒に「大学院人文科学研究科入学願書」と朱書する。

検定料（5,000円）の送付は定額小為替とし、受取人欄に「お茶の水女子大学」とだけ明記すること。

5. 出願期日・願書受付場所

- (1) 2月1日（金）から2月9日（土）までの間、休日を除き毎日午前9時から午後3時まで。ただし土曜日は午前11時30分まで。なを、郵送の場合は締切日が過ぎても昭和49年2月9日以前の消印のあるものに限り受け付ける。
- (2) 受付場所 〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号 本学文教育学部事務部（地下鉄荷茗谷駅又は都バス大塚二丁目下車）

6. 選考期日・時間割および試験場所

- (1) 選考期日 昭和49年2月22日（金）
- (2) 筆記試験・口述試験時間割

専攻名		筆記試験科目			口述試験	備考
		外国語	専門科目			
哲学専攻	哲学	10:00~11:30 英・独・仏 ・中国語の 中から1か 国語を選択 する。 ただし、中 国文学専攻 志望者が中 国語を、英 文学専攻志 望者が英語 を選択する ことはでき ない。	13:00~15:30 哲学 倫理学		16:00~	※哲学また は倫理学の うちから一 科目
	倫理学		および英・独 ・仏語のうち 左記外国語試 験で選択しな かった1か国 語			
	美学		倫理学	哲学		
	社会哲学		美学 ※(備考参照)	社会哲学		
史学専攻	日本史学	13:00~15:00 日本史学	13:00~15:30 東洋史学		15:30~	
	東洋史学		西洋史学			
	西洋史学					
地理学専攻		13:00~15:00 地理学			15:30~	
日本文学専攻		13:00~15:00 国語学および国文学			15:30~	
中国文学専攻		13:00~15:00 中国語学および中国文学			15:30~	
英文学専攻		13:00~15:00 英語・英語学および英米文学			15:30~	
教育学専攻		13:00~16:00 教育史・教育心理学のうちいづ れか1科目選択、および論文			16:30~	学士論文提出 可能な者は願 書と同時に提 出すること
舞踊教育 学専攻	舞踊教育学	13:00~15:30 舞踊学および論文 論文は志望する講座出題の課題 を選択する。	16:00~ 舞踊実技を 課することが ある。		16:00~	
	遊戯学					
	動作学					
	音楽学					
	演奏学		西洋音楽史または日本音楽史			
			演奏を課す ることがある。			学士論文提出 可能な者は願 書と同時に提 出すること。

註 イ. 上記の選択科目については出願の際届け出るものとする。

ロ. 口述試験は主として志望する専攻又は学士論文について行なう。

ハ. 教育学専攻および舞踊教育学専攻(音楽学、演奏学)志望者で学士論文を提出できない事情のある者はその旨申し出ること。

ニ. 教育学専攻および舞踊教育学専攻(舞踊教育学、遊戯学、動作学)志望者に課す専門科目の論文は、志望する専攻に応じ課題のうちから選択し、論文(2,000字程度)を作成する。

(3) 試験場所 お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2丁目1番地1号)

7. 検定料・入学科および授業料 検定料 5,000円 入学科 12,000円 授業料(年間) 36,000円

8. 合格者発表

合格した者には昭和49年2月28日(木)午後、本人に通知すると共に学内にその氏名を掲示する。

9. 注意事項

- (1) 同一年度に本研究科内の2つ以上の専攻に出願することはできない。
- (2) 出願手続後はどんな事情があっても、書類の変更および検定料の払戻しの要求には応じない。
- (3) 合格、不合格に関する郵便、電信、電話等による問い合わせには一切応じない。

昭和48年12月

〒112 東京都文京区大塚2丁目1の1 お茶の水女子大学 電話：東京(03)943-3151(大代表)

お茶の水女子大学大学院人文科学研究科修士課程概要

1. 目的および使命

本学大学院は本学の目的、使命に則り、学術の理論および応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的とする。

2. 修業年限 2年

3. 専攻および学生定員 人文科学研究科に次の専攻をおき学生定員は次のとおりとする。

専攻名	入学定員	総定員	専攻名	入学定員	総定員
哲学専攻	8	16	中国文学専攻	4	8
史学専攻	8	16	英文学専攻	8	16
地理学専攻	6	12	教育学専攻	12	24
日本文学専攻	8	16	舞踊教育学専攻	10	20
			計	64	128

4. 授業科目履修方法および課程の修了

- (1) 学生は2年以上在学し、それぞれの専攻課程の授業科目について30単位以上履修しなければならない。ただし、専攻課程担当の指導教官が当該学生の研究上特に必要と認めた場合に限り、他の専攻課程、他研究科および学部の授業科目を指定して履修させ、これを修士課程の単位とすることができる。
- (2) 課程の修了には、2年以上在学し、所要の単位を修得し、かつ学位論文を提出して最終試験に合格しなければならない。

5. 学位授与 本研究科において、課程を修了した者に対しては、文学修士の学位を授与する。

6. 専攻課程別主要授業科目・担当専任教官

専攻	主な授業科目	担当指導教官	専攻	主な授業科目	担当指導教官
哲学専攻	哲学特論・演習	教授 茅野良男 助教授 石塚富士子	中国文学専攻	中国文学特論・演習	教授 近藤光男 助教授 佐藤保樹
	倫理学特論・演習	教授 勝部真長 助教授 尾田幸雄		中国語学特論・演習	教授 頼惟時 助教授 中山
	美術・美術史特論・演習	教授 柳宗玄 助教授 坂本上茂	英文学専攻	英文学特論・演習	教授 森山滋亮 助教授 外山秀勝
	社会哲学特論・演習	教授 井島茂 助教授 宮島		米文学特論・演習 英語学特論・演習	助教授 酒本雅之 教授 木原研三 助教授 長谷川久
史学専攻	日本史学特論・演習	教授 青木和夫 助教授 大口次郎	教育学専攻	教育学特論・演習	(未定) 助教授 中内敏夫
	東洋史学特論・演習	教授 坂野潤治 教授 市古宙三		教育社会学特論・演習	教授 河野重隆
	西洋史学特論・演習	教授 和田久英 教授 中村勝 助教授 平野		教育行政学特論・演習	助教授 森吉田昇
地理学専攻	人文地理学特論・演習	助教授 正井泰夫	舞踊教育学専攻	舞踊教育学特論・演習	教授 松本千代栄 講師 佐藤康子
	自然地理学特論・演習	教授 浅井辰郎		遊戯学特論・演習	(未定) 助教授 興水はるみ
	地誌学特論・演習	教授 浅海重正 教授 式正英夫 助教授 内藤博		動作学特論・演習	講師 石黒節子 教授 大宮誠彦
日本文学専攻	上古文学特論・演習	教授 次田真幸	音楽美学特論・演習 音楽理論・演習 演奏学特論・演習	音楽美学特論・演習	助教授 大徳丸吉彦
	中古文学特論・演習	教授 関根慶子		音楽理論・演習	助教授 森下はるみ
	中世近世文学特論・演習	教授 井本農精		演奏学特論・演習	講師 石黒節子 教授 大徳丸吉彦
	明治大正文学特論・演習 国語学特論・演習	助教授 堤井清 教授 江湖山恒明 教授 市川		演奏学特論・演習	助教授 遠見彦子 助教授 高橋大

人 事

○人事異動

○昭和48年12月16日 (文部省)
 文部教官(助教理学部) 塚本 晃
 文部教官(講師理学部) 団 ジーン
 教授 理学部に昇任させる。

○昭和49年1月1日 (文部省)
 文部教官(教授 文教育学部) 大宮 誠
 学生部長に併任する。
 併任の期間は昭和50年12月31日までとする。

○昭和48年12月17日
 法務事務官(東京法務局品川出張所)藤城 健三
 文部事務官(庶務課)に転任させる

○昭和48年12月31日
 文部教官(助手 理学部) 松沼和子
 辞職を承認する
 昭和49年1月1日
 丹藤勝次

○文部事務官(附属小学校)に採用する
 文部事務官(庶務課文書係調査主任)石川 芳夫

○非常勤講師

発令年月日	異動種目	氏 名	所 属	任期又は併任の期間	本 務 そ の 他
S. 49. 1. 1	採 用	石 田 みち子	文・附小	S. 49. 3. 31	
S. 49. 1. 8	〃	宗 像 静 子	文・附中	S. 49. 3. 30	
〃	〃	小 竹 千香子	文・附高	S. 49. 3. 31	
S. 49. 1. 11	併 任	小 西 真理子	理・数学	〃	東京工業大学助手
〃	〃	遠 藤 実	理・生物	〃	東京大学助教授
〃	採 用	秋 山 達 子	家・児童	〃	大正大学講師
〃	〃	市 川 房 枝	〃	〃	婦選会館理事長
S. 49. 1. 19	併 任	田 村 一 郎	理・数学	〃	東京大学教授
S. 49. 1. 24	〃	村 井 友 和	理・物理	〃	奈良女子大学教授
S. 49. 1. 30	採 用	内 野 允 子	文・音楽	〃	上野学園大学講師
S. 49. 2. 1	〃	古 武 弥 正	家・児童	〃	神戸医科大学教授
〃	併 任	佐 藤 方 彦	家・被服	〃	九州芸術工科大学教授
S. 49. 2. 6	〃	桜 庭 信 之	文・英文	S. 49. 2. 28	東京教育大学教授
S. 49. 2. 9	採 用	クロイツァー豊子	文・音楽	S. 49. 3. 31	国立音楽大学教授
S. 49. 2. 12	〃	木 田 元	文・哲	S. 49. 2. 28	中央大学教授
S. 49. 2. 13	〃	岩 瀬 方 子	理・生物	S. 49. 3. 31	東京都立大学助手
S. 49. 2. 22	併 任	長 崎 暢 子	文・史	S. 49. 3. 31	東大・東洋文化研助手

庶務課 文書係長に昇任させる。

文部教官(助手 家政学部) 大竹はるみ
 文部技官(家政学部 教務職員)に配置換する

○昭和49年1月10日

文部事務官(附属中学校) 丸 柴 子
 辞職を承認する

○昭和49年1月16日

鈴木千明

文部事務官(庶務課)に採用する

附属中学校に併任する

併任の期間は昭和49年3月31日までとする

文部事務官(文教育学部) 高田保男

文教育学部学務係学務主任に昇任させる

文部事務官(会計課) 中野公敏

会計課用度係物品調達主任に昇任させる

文部事務官(家政学部) 薄 葉 章

家政学部学務係学務主任に昇任させる

文部事務官(庶務課) 菊池昭夫

庶務課人事係給与主任に昇任させる

○学科主任代理

昭和49年1月28日

教授 徳丸和彦

教育学科音楽教育学専攻主任代理を命ずる

◎ 非常勤職員

発令年月日	異動種目	氏名	所屬	職名	任期	備考
S. 48. 12. 5	配置換	若月 トヨ	家政学部	臨時用務員	S. 49. 3. 24	
S. 48. 12. 6	採用	近藤 圭子	附属図書館	事務補佐員	S. 49. 3. 30	
S. 48. 12. 20	辞職	下坂 雅子	家政学部	教務補佐員		
S. 49. 1. 1	採用	奥村 弘子	施設課	臨時技能補佐員	S. 49. 3. 31	
〃	〃	沢田 篤子	文教育学部	事務補佐員	〃	
〃	〃	金 矢 香	〃	〃	〃	
S. 49. 1. 17	〃	三森 ふみえ	附属幼稚園	臨時用務員	S. 49. 3. 16	
S. 49. 1. 21	〃	香田 紀子	文教育学部	事務補佐員	S. 49. 3. 31	
S. 49. 1. 31	辞職	近藤 圭子	附属図書館	事務補佐員		
S. 49. 2. 4	採用	重松 久美子	〃	〃	S. 49. 3. 30	
S. 49. 2. 9	辞職	鈴木 宗一	家政学部	臨時事務補佐員		
S. 49. 2. 12	採用	田代 和敏	附属図書館	事務補佐員	S. 49. 3. 30	
S. 49. 2. 18	配置換	奥村 弘子	家政学部	臨時事務補佐員	S. 49. 3. 31	
S. 49. 2. 19	採用	小林 泰子	〃	教務補佐員	S. 49. 3. 31	

日 誌 (抄)

12月3日(月) 附属学校運営委員会
7日(金) 学生会館臨時運営委員会、理学部
計画委員会
10日(月) 理学視学委員実地視察
11日(火) 一般教育委員会、学生委員会、学
生連絡協議会
12日(水) 教授会、理学研究科委員会、奨学
金返還に関する説明会
17日(月) 附属学校運営委員会(持回り)
18日(火) 教職課程委員会、教育実習委員会
19日(水) 評議会、附属学校運営委員会(持
回り)
1月5日(土) 附属学校運営委員会(持回り)
10日(木) 大学院理学研究科第2次入試願書
受付
11日(金) 一般教育委員会(持廻り)
14日(月) 学寮委員会、学寮協議会
16日(水) 大学院委員会、教授会、理学研究
科委員会、学生委員会

19日(土) 大学院理学研究科第2次入試願書
受付×切
10日(木) 大学院家政学研究科及び学部編入
19日(土) 学願書受付
22日(火) 学生連絡協議会、施設計画委員会
23日(水) 評議会、就職指導懇談会
25日(金) 学生会館臨時運営委員会
29日(火) R・I・血液検査
30日(水) 学生委員会
2月1日(金) 大学・学士入学(文)・大学院人文科
9日(土) 学研究科入学願書受付
1日(金) 大学院理学研究科第2次入学試験
(数・化・生各専攻)
1日(金) 大学院家政学研究科及び学部編入
入学入試
2日(土) 大学院理学研究科第2次入学試験
(化学専攻)
4日(月) 学寮委員会、学寮協議会
5日(火) 一般教育委員会、院生協議会
6日(水) 教授会、理学研究科委員会、大学
院理学研究科第2次入学試験合格
判定会議、全 合格者発表数学専
攻1名、化学専攻3名、生物学専

攻2名、大学院家政学研究科及び
学部編入学入学試験合格判定会議

8日(金) 大学院家政学研究科・学部編入学
合格者発表

12日(火) 保健管理センター運営委員会

13日(水) 評議会

15日(金) 外国人留学生見学旅行(山梨県、

16日(土) 河口湖)

18日(月) 学生委員会

19日(火) 学生連絡協議会

20日(水) 教授会(文・理)、理学研究科委員会

22日(金) 大学院人文科学研究科入学試験、
電子計算機室運営委員会

25日(月) R・I・皮フ検査、教育実習委員会

27日(水) 教授会(文)、卒業・修了予定者判
定、大学院人文科学研究科合格者
判定、家政学研究科・家政学部、
修論・卒論発表会、学生会館臨時
運営委員会

28日(木) 大学院人文科学研究科入試合格者

発表、教授会(理・家)、修了、卒業
判定会議(家)

諸 報

○児童手当の支給範囲の拡大について

児童手当の支給対象者が、昭和49年4月1日か
ら次のように改正されます。

	現 行	改 正
対象児童	昭和38年4月2日以 降に生まれた児童	義務教育終了前の児 童

○財産形成貯蓄契約取扱の変更について

従来限定されておりました財産形成貯蓄の取扱
金融機関が、向後加入希望者の自由選択が出来る
ようになりましたので、この点御留意のうえ加入
手続をお進めください。

○海外渡航

所 属 職 名	氏 名	渡 航 先 国	渡 航 目 的	期 間	渡 航 種 別
文教育学部 助 教 授	森 隆 夫	ドイツ連邦共和国・ 連合王国・イタリア・ フランス・スイス	比較教育研究	48.12.26 49.1.7	研 修
附属小学校 教 諭	大 橋 富 貴 子	ソビエト連邦共和国	観 光	48.12.26 49.1.7	私 事

○本部棟(鉄筋コンクリート造4階建延2,040㎡)

しゅん功・昭和48年12月10日

○職員住所

[新任者住所]

[住所変更]